

WS 10	名著に挑戦！高階秀爾著『ルネッサンスの光と闇』(下)を読む				※ディスカッションあり
	【定員】30名		【受講料】2年会員・1年会員ともに 18,530円		聴講生 20,080円
	【美術】美術Ⅰ・Ⅱワークショップ		【時間】13時30分～15時30分 (計12回)		
概要	高階秀爾『ルネッサンスの光と闇』(下)を輪読します。同書は個々のテーマに沿った論考なので新たに参加を希望される方も歓迎です。ここは面白い、これが分からないなど意見交換をしながらルネッサンス美術の地下水脈に触れることを目指します。テキスト(中公文庫 990円)は各自ご用意ください。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/10(金)	新百合21ビル B2 第2会議室	オリエンテーション：自己紹介と輪読の割り振りなど	多摩美術大学名誉教授 諸川 春樹	
2	10/24(金)		第3部「愛と美」事前講義：ギリシャ・ローマ神話(別の角度から)		
3	10/31(金)		前期の内容確認と人気のあったテーマで歓談		
4	11/21(金)		第14・15章・16章：ポッティチェリ「春」を中心に		
5	11/28(金)		第4部「二人のヴィーナス」事前講義：ヴィーナス信仰について		
6	12/12(金)		第17・18章：「聖愛と俗愛」のテーマを巡って		
7	12/26(金)		第19・20章：ヴィーナスとフローラ		
8	1/9(金)		第5部「神々の祝祭」事前講義：ヴェネツィア派を理解するために		
9	1/30(金)		第21・22章：マンテーニャと神話主題		
10	2/13(金)		第23・24章：ジョヴァンニ・ベッリーニと神話主題		
11	2/27(金)		第25・26章：君侯と神話画		
12	3/13(金)		まとめ：『光と闇』を読み終えて得たものとは		